



# 假面劇

## 鋪道の上を讀んで

八月號の假面劇欄でした、富美子さんの「鋪道の上」と云ふ文がのせられておりましたのを一讀しましてわたくしも外出の時には下駄を見つめて歩く癖が付きまして、で時折電信柱につき當る憂き目を見ることがあります、何時か研究欄で路面上の電柱がどれ程往來人の邪魔をするかと云つた様な意見が記載せられて居りましたことを記憶して居ります、全く東京の道路は上を見ても下を見ても氣持ちがよくありません、折角アスファルトや乳劑鋪装が施され洗滌せらるると清潔な道路となるのに歩み行く下駄の先には紙屑がある、唾液がある

痰がある精神上に衛生上に都市美の上から不快極まることあります、大東京の恥辱と言ひましてよろしいでせう。之れは忍ぶとしても無鐵砲な運轉をする圓タクに出逢ふ時の恐怖は三年の生命が縮めらるゝ思ひがしますが安全地帯を不安全地帯とする亂舞的運轉や電車乗降を阻止する横着な操縦や一停留場に目高運轉の結果二臺の電車が停車して前車は満員後車は安全地帯の外に在りて乗るにや乗られずマゴ／＼して居る内に自動車自轉車が突進して來る電車は進行し始める途に乗り遅れて泣きたくなるので焦躁の極點に達する之れや赤字財政處か赤字生活となつてしまひます。何とか整理改良の策は見出されないものでしょう

注 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

か。(S E 生)

## 冬の諸嬢達は

### どうするか

あついでとつぶやいた夏も何時しかすぎ去つて身にしむ秋の風吹く頃となつたがやがては、はだへをつんざかるる冬が來るのである。涼しさから離れて炎熱下に働いた新開立賣りの嬢、圓タク相手のガソリン嬢、豚箱にひねもす、すわり通すチケット嬢、毒消し賣の嬢、大島椿油賣りの島の嬢女、バタヤやバスの女車掌達が「私達でも女ですわ、生活の爲の惡戰苦闘には馴れて居るとはいふも山へも行きたい海へも遊びたいのですけれど暑と戦はねば生きて行けぬも

のだから我慢してこう働いて居る」との言葉  
葉を聞かされたのは数日前と思ふ内にはや  
くも冬が迫り来た、寒い〜とつぶやかね  
ばならぬも間近くなつた。月日の流れ行く  
のは早いもので光陰矢の如くでなく鐵砲の  
丸の如くである、朝に夕に食はねばならぬ  
爲めに通勤する途中であの小さな番箱の中  
にやどかり蟹の如く時々ガゾリンスタンド  
の處までチョイ〜出てくるガゾリン罐を  
見てペーブメントを吹きまくつてくる、か

ら風に赤めらるゝ顔を氣がらねばならぬ、自動車のステツプに立つてオートライ  
・ストツプと呼びながら短かいスカートの下  
から風に吹き上げらるゝ女車掌に切符を買  
はねばならぬ。路面を遠慮會釋もなく吹き  
來る黄塵を渦まゝ寒風に肌もさけん斗りの  
新開立賣娘に夕刊二枚を三錢で買ふべきこ  
とを思へばそゞろに人生のはかなきを嘆せ  
しめらるゝことよ、曾てK新聞に誇れ貧者  
と題しての投書が記載されたを見たか其文  
中に「國家社會のこと貴族富家に反省發奮

を要求することは極めて必要であるがその  
結果に期待することは空しく且つ危険であ  
る、歐米の國民はともかく日本だけは一般  
衆庶の勤勞階級が誕り強化し擴充すべき  
である」と又「道路、建築其他あらゆる工  
作すべて貧者の筋肉奉仕に待たぬものあり  
や、富者一夕の宴に費やす處優に貧者百人  
二百人を鼓腹せしむるに足るにあらずや」と  
と言まさに共鳴する、彼是思ひ合はして一  
言なきるべからずだ。(文衛生)

## 借金の棒引

往古イストラエル民族ではヨベルの年と云  
ふのがあつて五十年目毎に抵當權の設定を  
取消し耕地は分配せられ借金は棒引せられ  
て富者貧者をしてその生活を平均せしむる  
制度が立つて居つて民は其ヨベルの年を賞  
讚したのであつたが大部分の民は此制度の  
爲めに平素決して利己主義に墮することは  
なかつた、民皆豫言者の言を聞いて神を畏  
れおののきて之に禮拜し貧者は富者を妬ま

ず富者は貧者をいつくしむことを忘れなかつた、古代史に依つて學ぶ處はこゝである、我邦に於ては武家政治時代に所謂徳政が行はれて借金棒引が實施せられたのであつて近時史學者間には此徳政に關しての研究が盛になりつゝあることを聞く、實に喜ぶべきことである、財貨の均一主義はあながちマルクスを待たない、生活の不平等解消を企つるのは獨り共產主義者の專賣特許でない、我邦往古より愛民政治は實行せられておる、東洋の一孤島といへども上に慈民の徳具はり下に服従の性ありて上下一致徐ろに天道に従ふて生活するの國民が吾々大和民族である、徳政の蕙澤に潤ふて敢て自我主義に陥らざりしは大八洲民族史の美點である、安逸をこれ事とする階級が存在や他方を搾取して得たり賢しとする我愆者流は我民族性と相容れざる徒である、滿洲國民をして眞の王道政治を實現せしむる爲めに指導の位地に立ものは我民族をおいて他にないのである、だが我同胞が他をリ

ドせんとは内省して摸倣者とならず追隨者とならず創造力に依つて涵養せられた大精神に還元して自らを清うし正しくし強くし行くべきである、我慾を去つて徳政を施せば借金の棒引何かあらん緊押一番大帝國の威を示さんか。(讀史生)

### あるものは

#### ありて餘るか

無を有と爲すことは難事であるのは筆を要しないが有るものは益々あつて餘りあるのに無きものはいやが上に奪ひ去らるるのが現代の世相である。其處に社會の行き詰りとなる原因が存する。資本主義組織の結果行くへき處に行き詰つたと論ずる者があるがそう一概に結論を與へることは正當でない、資本主義の如き唯物主義の世では資本主義組織に依らずとも行詰るのである、マルクスの資本論でも唯物史觀でも其實現の曉にはまた行詰りに達する。唯物主義には制限がある、人生は無限であらねばなら

ぬ無限界には行詰りはない理であるが人間はとかく無限界を忘れて有限界で智慧くらべをするものである。有無相通し富貧相等しくするの策はどうするのか、此頃米國大統領ルーズヴェルトはまたしても其智慧から絞り出したのが救貧會社である、即ち多數失業者救済の一助として失業者家族の使用する生活必需品の配給を目的とする一大非營利會社を設立するの計畫を發表したとの事である、其仕事振を早く見たいものである、其會社が重役救済會社と化することなくして眞に失業者の救済を果し得るならば北米人は勿論世界人の幸福をもたらすの結果を得ることとなつて我國でも米の配給や米價の調節に苦勞せずともよくなるであらう農林省の方々は早々渡米して見學せられては如何匡救土木費も節約が出来て海陸軍の國防費に轉することが出来るので一石三鳥位の好成績を擧ぐる事となるであらう。

(ヒロシ)

### 土を厭へば家亡ぶ

十數年前の事である某縣立高等女學校卒業生が婚嫁する條件の一として「一生涯鐵と鎌とを手にせざること」があつた。某氏の陳述中に「農村から都會へ走る人の數は大變なものである、しかもそれ等の人は比較的質のよい人である、かくて農村は人物拂底してゐる、それも農民自身がまた都會人の氣持ちを持つてゐる、私のところへ來た優良な農民子弟も女の前へ出ては節くれ立つた手を隠したがるのです」、日本には眞の農民がない」と傳へられて居る、實に土に親しむの農民が漸時減少し行くのは事實である、金も人物も農村を離脱して都會へと流れ込んで農村の衰微は年々歳々甚しくなることは今に始めぬ事である、吾々が十數年前であつた丁抹復興の史實を引例して農村振興を高唱した事であつたが吾等笛吹けども人踊らずと云つた様な風であつた、時節到來せざれば事行はれず、事行はれんとする時は事既に遅しと云はなければならぬ噫。(H生)